# 令和５年度　第２回浦河警察署協議会議事概要

１　開催日時
令和５年９月26日（火）　午後２時10分から午後３時10分までの間

２　開催場所
札幌方面浦河警察署　大会議室

３　出席者
(1)　警察署協議会委員　　６人（定員７人）

| | |
|---|---|
| 会長 | 米山　豊 |
| 副会長 | 田中　正人 |
| 委員 | 三好　昭弘 |
| 委員 | 渡邊　摩美 |
| 委員 | 西川　奈緒子 |
| 委員 | 荒木　ゆかり |

(2)　警察署（６人）

| | |
|---|---|
| 署長 | 星川　茂生 |
| 副署長 | 大塚　竜彦 |
| 刑事・生活安全課長 | 浅岡　竜介 |
| 地域・交通課長 | 伊藤　健太朗 |
| 警務係長 | |
| 警備係長 | |

４　開催状況

(1)　会長挨拶

(2)　署長挨拶
・　北海道警察における懲戒処分の概要
・　秋の全国交通安全運動の実施について
・　北海道警察官採用募集広報

(3)　浦河署業務概況について
警務係長説明

(4)　諮問事項『大地震と津波対策』について
ア　前回協議会での諮問事項に対する委員からの要望・意見内容
　諮問事項である『大地震と津波対策』について、道内において頻繁に地震が発生しており、浦河町においても本年６月に震度５弱を観測する地震が発生するなど、予断を許さない状況下にある。
　大地震が発生した場合の避難経路と津波が来た場合における警察措置など、大規模災害に備えた警察対応について説明を願いたい。

イ　警備係長説明

(ｱ)　前回協議会前における対策状況

ａ　大津波を想定した避難訓練

冬季の夜間時間帯に大津波警報が発令されたたとの想定に基づき、様似町、えりも町に居住する地域住民が避難場所に指定されている高台に車両や徒歩で避難する官民一体となった訓練を実施した。

ｂ　町内事業者と連携した避難誘導訓練

浦河町に所在するグループホーム及び宿泊施設と連携し、津波が発生した場合に要介護認定や障がいを有するなど自力で避難ができない避難行動要支援者を安全に避難・誘導させる訓練を実施した。

ｃ　非常参集訓練の実施

警察職員による災害発生時の早期体制確立など、初動対応能力の向上を目的とした非常参集及び災害警備本部設置訓練を実施した。

(ｲ)　諮問を反映させた警察の措置状況

ａ　防災関係機関との合同による機能移転訓練

日高振興局、海上保安署、自衛隊、消防組合等の防災関係機関と合同にて、警察署が地震・津波で被災した場合に同振興局に合同指揮室を設置し、災害情報と被害状況の収集・伝達や災害応急対策に係る関係機関との連絡調整を確認する機能移転訓練を実施した。

ｂ　ドローンを使用した画像伝送訓練

土砂災害現場を想定したドローンによる被災状況等の情報収集と現場の映像を指揮室のモニターに映す画像伝送訓練を実施した。

当署では平成31年に浦河町内のドローン保有事業者と災害時におけるドローンを活用した情報収集に関する協定を締結しており、協定に基づく訓練を初めて実施した。

ｃ　事業者との災害図上訓練の実施

浦河町内の事業者と災害が発生した際の避難要領や防災対策をゲーム感覚で確認するＤＩＧ訓練を実施し、想像力を働かせることで地域住民の防災意識向上を図った。

ｄ　災害広報活動の推進

管内で開催された祭事会場において、警察による災害現場での活動状況を周知するパネル展示を行ったほか、浦河高校において開催された「１日防災学校」にて、警察の立場から見る避難所生活時の災害対策に関する講話及び実演講習を実施し、高校生の防災防止醸成を図った。

ｅ　浦河警察署防災マイスター制度の運用

警察職員の防災能力向上及び地域における防災リーダーとして中心的な役割を果たすことを目的として、「管内の災害情勢」、「過去の災害発生状況」、「国・道の防災対策」、「警察の災害対策」等に関し幅広い知識を身に付けた職員を浦河警察署防災マスターに認定する制度を運用し、署員全員が試験に合格し認定した。

(5)　その他の要望・意見と警察の説明

ア　車上ねらいの発生状況及び被害防止対策について

（委員）
車上ねらいの発生状況と被害に遭った場合の被害防止対策について知りたい。
《警察》
全道の車上ねらい発生件数については、８月末時点で423件であり、当署管内は一昨年に認知した１件を最後に発生の認知はない。
被害に遭った場合の対処方法については、
・直ちに110番通報する
・犯人の指紋など証拠保全するため、車に触らない
ことを徹底する。
被害防止対策については、
・窓を開けたままにせず、ドアロックを掛ける
・貴重品などの荷物を車内に置いたままにしない
・明るく管理された駐車場を利用する
を心掛けるほか、犯人は音、光、録音されることを嫌うことから、
・ドライブレコーダーや警報装置等の防犯機器の設置
・自宅駐車場に防犯カメラやセンサーライトを設置
などが効果的である。
イ　ヒグマ出没時の対策状況について
（委員）
道内で頻繁にヒグマが出没しているが、人畜被害防止に向けた警察の対策状況について回答を願う。
《警察》
当署で認知しているヒグマの目撃状況については、本年中25件（９月19日末時点）であり、住宅街付近でも目撃も増加傾向にある。
ヒグマによる人畜被害防止対策としては、
・出没地域における住民広報
警察官による訪問活動やパトカーの車載マイクによる注意喚起
・通学時における見守り活動
パトカーによる警ら活動や制服警察官による街頭啓発の実施
・町役場、振興局等の関係機関と連携した対策
関係機関との情報共有や住宅街に出没した場合の共同による警戒
などを実施している。
ウ　鹿との交通事故対策について
（委員）
管内において鹿との交通事故が多く発生しているが、事故発生時の対処方法と予防策について知りたい。
《警察》
鹿との交通事故に限らず交通事故が発生した場合、
・車両を安全な場所に移動させる
・直ちに警察へ110番通報する
ことを徹底願いたい。
また、予防策については、
・車両スピードの抑制による衝突リスクの軽減

・不測の事態を想定した「かもしれない運転」の徹底
・脇見運転の禁止

を遵守することが、鹿だけでなく重大事故の未然防止に繋がる。

エ　あおり運転への対応について

（委員）

あおり運転の当事者となった場合の対処方法について回答を願う。

《警察》

あおり運転の対処方法については、

・安全な場所に車両を停車する
・車のドアロックを掛け車外に出ない
・早期の110番通報（同乗者がいれば通報を依頼する）

を徹底するほか、証拠保全の観点からドライブレコーダーの設置と映像の保存が重要である。

(6)　次回の諮問事項について

全国的に高齢者が当事者となるアクセルとブレーキの踏み間違い事故などが多く発生している印象を受けることから、浦河警察署管内での高齢者による交通事故の発生状況と対策について、自動車運転免許証の返納状況などを踏まえた説明を次回の警察署協議会で願いたい。

(7)　警察署協議会の開催予定について

次回の警察署協議会は、12月の予定とする。

以　　上